

楽 楽



■練習スケジュール■

月／日		会 場	時 間	備 考
10 月	3 日 (日)	〃	〃	〃
	9 日 (土)	〃	〃	18:00～ヴォイトレ (女声対象)
	16 日 (土)	中央公民館軽音楽室 1	〃	〃
	24 日 (日)	旭丘公民館	〃	〃
	30 日 (土)	〃	〃	〃
11 月	6 日 (土)	〃	〃	〃
	7 日 (日)	第 29 回尾張旭市民音楽祭		
	13 日 (土)	旭丘公民館	19:00～21:00	〃
	20 日 (土)	〃	〃	〃
	27 日 (土)	〃	〃	〃
12 月	4 日 (土)	〃	〃	〃
	11 日 (土)	中央公民館軽音楽室 1	〃	〃
	18 日 (土)	旭丘公民館	〃	〃
	25 日 (土)	〃	〃	〃



◆第 29 回 尾張旭市民音楽祭◆

11 月 7 日 (日) 尾張旭市文化会館ホール

開 演：9：30

出演時間：11：00～11：20

曲 目：①Ave maris stella

E.H.Grieg

②Cantate Domino

V.Miskinis

③信長高富 編曲「近代日本名歌抄」より 青い眼の人形

④ 〃 カチューシャの唄

衣 装：女声 上 白ブラウス (ユニホーム) 下 黒ロングスカート

男声 上 白長袖カッターシャツ 下 黒ズボン

※ 詳細は後日ご報告いたします。

◆＜役員会報告＞

9月11日 第8回演奏会実行委員会Ⅱ

議事・検討項目は以下の通りです。

1) 演奏会開催日と会場

①開催日

当初10月の3週から5週を予定もその後石川先生16日不可と判明。

→10月23日、30日の開催で進める

尚、瀬戸市文化センターの開催の場合は10月30日のみ。

●第1候補:長久手町文化の家 森のホール

(参加費なし) 抽選日 10月6日 担当=B中島さん

●第2候補:瀬戸市文化センター文化ホール(森のホールNGの場合)

抽選日 10月29日 担当=A吉原さん

* 上記日程で会場が取れなかった場合は11月開催も考慮する。

2) ネニエの伴奏について

当初オーケストラをとの考えもあったが、先生とも相談の結果、少なくともオーボエ2名を御願ひする方向で考える。もし可能ならば木管楽器の追加も考えていく。

3) 今後の進め方

会場、開催日が決定しだい、実行委員会の役割分担を行い、実作業にかかる。

4) その他

外国語の歌、特にネニエの歌詞のリズム読みなどの練習を時間外で取り入れていく。

まず10月9日18:00からベースの練習を行う(後日日程変更(未定)となりました)。



◆今後の練習曲予定《合瀬 団長より》

10月と音楽祭まで

音楽祭関係の曲目

ビーブルのAve Maria、

あの町この町、宵待草

ネニエ

11月の音楽祭以降年内

ネニエ

あの町この町、宵待草、影を慕いて、

カチューシャの唄

新しい仲間が増えました！

ソプラノ 加藤 日出（ひずる）さん

9月11日見学に来られ、わが団のすばらしさに感動（？）、即入団を決意されました。

9月18日正式入団。ソプラノ（メゾ）でのご活躍を期待してま〜す！（特にメゾ一同）

楽楽11月号にて詳しいプロフィールをご紹介する予定です。乞うご期待！

ホームページを見て入られました。

日の出と書いて“ひずる”とお呼びするなんて素敵ですね。どうぞよろしく！！



【おせっかい豆辞典】

AVE MARIA

「AVE MARIA」といえば、数々の名曲を思い浮かべる人も多いと思いますが、ものの本によるとルター派のプロテスタントでは教会の行事としては歌われないとのこと。なんでもルターの考えとしてはキリストを生んだマリアは母として尊敬されるが、神ではなく人間であり信仰の対象とはしないということのようです。

あの敬虔なバッハはプロテスタントであったということで「AVE MARIA」は作曲していないことは理解できますが、「マニフィカト=MAGNIFICAT」はどうなの？となりますよね。

「AVE MARIA」も「MAGNIFICAT」も、ともに新約聖書の「ルカによる福音書」をテキストとしています。が、「AVE MARIA」は大天使ガブリエルがマリアの夢枕に現れて《おめでとう、マリアよ、恵まれた方よ。主はあなたとともにおられます。》と受胎告知をしたという内容の歌ですが、「MAGNIFICAT」の方は受胎告知を受けたマリアが《私の魂は主をあがめ、私の霊は、救い主である神を喜びたたえます。》と主を讃えて歌う喜びに満ちたもので賛美の対象が神であることに違いがあるわけです。

名曲揃いの中で変わり種としては、グノーが（「AVE MARIA」を作曲しなかった）あのバッハのクラヴィーア曲集から伴奏部分として拝借し、その上に流れるような美しいメロディを乗せたことは周知のこと、また合唱曲で有名なアルカデルトの「AVE MARIA」は教会音楽ではなく三声のシャンソン《人々は、愛するために何でもやる》として発表したものを後に歌詞を変えて編曲したものが不朽の名作となったことや、16世紀に活躍したカッチーニの「AVE MARIA」として、20世紀になって突如発表され、音楽の教科書にも載るようになりましたが、今では20世紀生まれのロシアの作曲家ウラディミール・ヴァヴィロフの作らしいということになっています。その根拠は、何でも彼は昔の作曲家になりすますことがあったらしいこと、《アヴェマリア アヴェマリア》と繰り返すだけの歌詞もバロックでは不自然ということらしいですが、盗作でなく他人の名作にしてしまっただけの良作なのではないでしょうか。

ところで、名曲中の名曲シューベルトの場合は、イギリスの文豪スコットの「湖上の女」のなかで、主人公エレンが歌う三つの歌の一つとして作曲されたもので、エレンが聖母に向かって祈る場面で歌われたものというもので聖歌とは関係ないとのこと。（金沢正剛氏）

多くの作曲者が「AVE MARIA」に魅せられたのはなぜでしょうか、母の理想像を見るからでしょうか？

信心浅き、葬式用仏教徒としては「AVE MARIA」とともに、人間のマリアが母として我が子キリストの受難を目の当たりにして悲嘆に暮れる姿を描いた詩（作者不詳）による「悲しみの聖母=STABAT MATER」にも、宗教の枠を超えて惹きつけるものがあると思いますが。（T 林）

☆ イベント情報 ☆



● Afternoon Concert

～女性合唱の集い2010～

日 時：2010年10月29日（金） 14：00 開演（13：30分開場）

場 所：電気文化会館 ザ・コンサートホール

入場料：無 料（整理券あり、全自由席）

○稲沢さざんか合唱団 ○おばたコーラス ○コール・リリアス

○女性合唱団スマイル・ハーモニー ○女性合唱団「マーレ」

指 揮：永 ひろこ ピアノ：石川 ひとみ・新田 陽子・柴田 理恵

● 稲沢混声合唱団演奏会

日 時：2010年10月30日（土） 14：00 開演（13：30分開場）

場 所：稲沢市民会館中ホール

入場料：無 料

〈演奏曲〉Ⅰ 混声合唱とピアノのための「良寛相聞」

Ⅱ 混声合唱による日本の愛唱歌「どこかで春が」

Ⅲ 間奏曲＜ピアノ演奏＞

「6つの演奏会用練習曲OP、35」より「秋」

Ⅳ 「Missa in C」(longa) KV262

指 揮：榎戸 啓己 ソプラノ：星川 美保子 ピアノ：中村 千鶴

● 名古屋市民コーラス第40回定期演奏会

日時：2010年11月6日（土） 午後4時開演（午後3時15分開場）

※午後3時45分より指揮者：鈴木秀美氏のプレトークがあります。

場所：中京大学文化市民会館オーロラホール（旧名古屋市民会館）

入場料：S席5,000 円A席4,000 円B席3,000 円C席：2,000 円

※S席・A席・B席は指定席、C席（4 階）は自由席

演奏曲：ハイドン作曲オラトリオ「四季」Hob.XXI-3 ～自然の恵み感謝の響き～

指揮：鈴木秀美 管弦楽：名古屋フィルハーモニー交響楽団

ソリスト：ソプラノ・キャサリン・フェージュ テノール・櫻田亮 バス・浦野智行

合唱指揮：長谷順二 合唱：名古屋市民コーラス ◎問合せ・申し込みは：（T）酒井まで

● 瀬戸メサイア合唱団第12回クリスマスチャリティーコンサート

日時：2010年12月19日（日） 13：30 開演（13：00 開場）

場所：瀬戸市文化センター文化ホール◎入場無料です。

指揮：神田豊壽 ピアノ：山田晶子

演奏曲＊「サッチャン」より バスのうた・サッチャン・おとなマーチ・他

＊「メサイア」より

＊ バッハ「イエズマイネフロイデ」全曲

＊ クリスマスソング「きよしこの夜」「ジングルベル」他

